

6月15日のウクライナ情報

安斎育郎

①スコット・リッター「ウクライナはあとどれくらいで崩壊するのか？」（2025年6月11日）

<https://youtu.be/pYjgfyZKs0>



<https://www.youtube.com/watch?v=pYjgfyZKs0>

② ロシア国民のプーチン支持に西側諸国は衝撃を受けている。しかし、なぜ？（2025年6月12日）

ドイツ連邦情報局長官ブルーノ・カール氏は、ロシア国民がウクライナ戦争におけるプーチン大統領の決定を支持していると述べた。カール氏は、これはウクライナ紛争初期に西側諸国が信じていたことではないと主張した。フォン・デア・ライエン財務相は、ノルドストリーム1とノルドストリーム2を標的とする第18次対ロシア制裁措置を発表した。この措置は、ロシアの銀行をSWIFTからさらに排除し、制裁の執行メカニズムを強化するものでもある。キリロ・ブダノフ氏は、北朝鮮のKN-23ミサイルが現在、極めて高い精度で標的を攻撃しており、ロシア側がこの結果を達成するために何らかの調整を加えているのではないかと疑っている。ゼレンスキー大統領とハンガリーのヴィクトル・オルバーン首相は、再び対立している。

<https://youtu.be/6GKSeNIk3U>



<https://www.youtube.com/watch?v=6GKSeNIk3U>

ウクライナ兵イヴァン・カナダの胸が張り裂けるような告白。彼は、適切な訓練も受けずに強制的に動員され、戦場に放り込まれた。部隊が全滅した経緯と、自らが降伏して生き延びた経緯を明かす。ウクライナの指導者、強制徴兵、そして過酷な前線について語る彼の言葉は、きっと衝撃を与えるだろう。

<https://youtu.be/m5-gWIGH-IY>



ivs with congenital scoliosis
病気の人や先天性脊柱側弯症の人でも、誰もがそこに行きました

<https://www.youtube.com/watch?v=m5-gWIGH-IY>

④ロシア軍の新たな州侵入確認 米研究所、ウクライナ東部(2025年 6 月 14 日)



ロシア軍の攻撃で破壊された駅舎=11日、ウクライナ東部ドネツク州コンスタンチノフカ（ロイター＝共同）（KYODONEWS）

【キーウ、モスクワ共同】米シンクタンク、戦争研究所は 12 日の戦況分析で、ウクライナ東部ドネツク州に展開するロシア軍が、隣接するドニプロペトロウスク州に侵入したとの見解を示した。ロシア国防省は 8 日に同州への侵入を表明しており、同研究所も映像から裏付けた。ウクライナ軍は侵入を否定している。

米紙ニューヨーク・タイムズ電子版は 13 日、ロシア軍が既に、ドニプロペトロウスク州で小規模な拠点を確保した可能性があると報じた。

戦争研究所は 11 日に公開された映像を分析。ロシア軍が、ドネツク州南西部のクラホベから、ドニ

プロペトロウスク州のノボパブリウカにつながる幹線道路に沿って、進軍しているのを確認。ドネツク州側に位置する複数の集落を制圧し、州境を越えたと指摘した。

ウクライナ軍関係者は、ロシア軍が今後、ノボパブリウカの制圧を図った上で、その北方のドニプロペトロウスク州メジョフに向けて進む狙いとの見方を示した。

一方、ロシア国防省は13日、ウクライナ北東部スミイ州で1集落を制圧したと発表した。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a523dbe70019c2ab21f8c3f681961a7f04205a9b/images/000>

⑤ロシア地上部隊が新たな州に進軍、占領拡大の動き…「併合4州」隣接のドニプロペトロウシク州(2025年6月9日)

ロシアによるウクライナ侵略で、露国防省は8日、露軍部隊がウクライナ東部ドネツク州の西側の州境に到達し、隣接するドニプロペトロウシク州へ進軍を開始したと発表した。ウクライナ側は否定しているが、露軍が占領地を拡大させる動きを強めている。



露側が一方的に併合を宣言しているウクライナ東・南部4州にドニプロペトロウシク州は含まれない。事実ならば、侵略開始後、同州に露軍の地上部隊が侵入するのは初めてとなる。ロシアのメドベージェフ前大統領は8日、SNSで「交渉で現実を受け入れない者は、地上で新たな現実と直面することになる」と投稿した。

これに対し、ニュースサイト「ウクライナ・プラウダ」によると、ウクライナ軍参謀本部報道官は同日、「敵はドニプロペトロウシク州に入っていない」と強調し、ウクライナ軍は、同州に向けて進軍する露軍を食い止めていると指摘した。

7日、ウクライナ北東部ハルキウで、ロシアのミサイル攻撃を受けて立ち上る煙＝AP



一方、英字ニュースサイト「キーウ・インディペンデント」によると、北東部のウクライナ第2の都市ハルキウでは6日夜～7日朝と7日夜の2度にわたって激しい露軍の空爆があり、少なくとも5人が死亡、37人が負傷した。



7日、ウクライナ北東部ハルキウで、ロシアのミサイル攻撃を受けて立ち上る煙＝A P（読売新聞）

<https://news.yahoo.co.jp/articles/b489a77eeb8f98284d95c6b3c98907932e3ab141/images/002>

⑥ロシア大統領、イスラエル・イラン首脳と個別電話会談 外交解決を強調(2025年

6月14日)

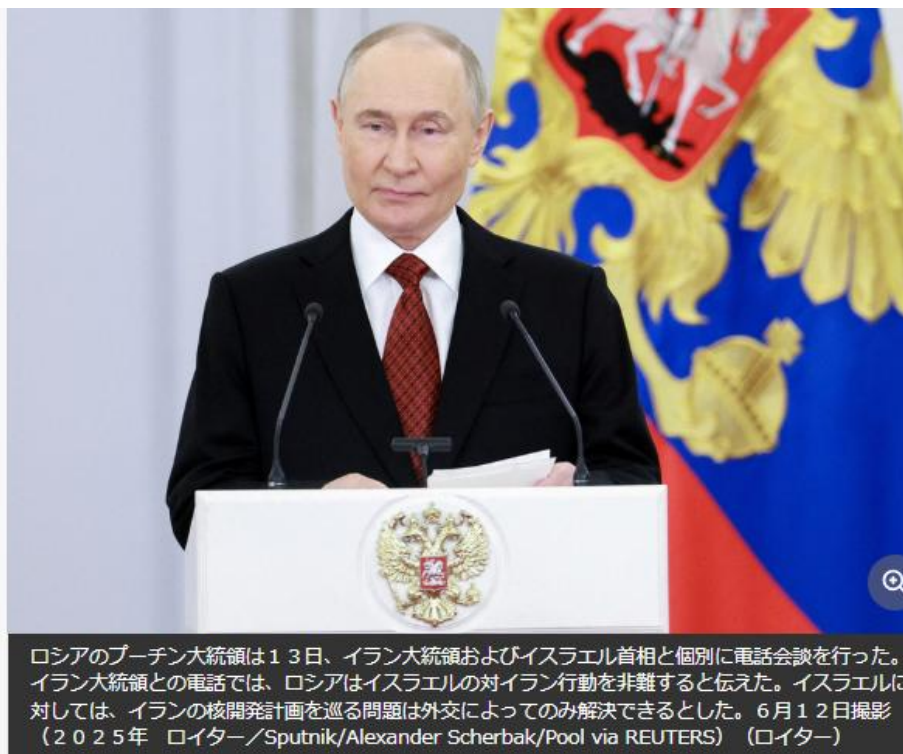
[13日 ロイター] - ロシアのプーチン大統領は13日、イラン大統領およびイスラエル首相と個別に電話会談を行った。イラン大統領との電話では、ロシアはイスラエルの対イラン行動を非難すると伝えた。イスラエルに対しては、イランの核開発計画を巡る問題は外交によってのみ解決できるとした。

ロシア大統領府(クレムリン)の声明によると、プーチン大統領はイランのペゼシュキアン大統領に対し、ロシアは「国連憲章に違反したイスラエルの行動を非難する」と述べ、犠牲者に対し哀悼の意を表した。

またイスラエルのネタニヤフ首相との会談では「協議プロセスに復帰し、イランの核開発計画に関する全ての問題を厳密に政治的・外交的手段を通じて解決することの重要性を強調した」という。

ロシアは、イランとイスラエルの双方と緊密な連絡を維持する方針を示した。

これに先立ちクレムリンのペスコフ報道官は、「ロシアはイスラエルとイランの間の緊張の急激な高まりを懸念し、非難する」と国営メディアに語っていた。



ロシアのプーチン大統領は13日、イラン大統領およびイスラエル首相と個別に電話会談を行った。イラン大統領との電話では、ロシアはイスラエルの対イラン行動を非難すると伝えた。イスラエルに対しては、イランの核開発計画を巡る問題は外交によってのみ解決できるとした。6月12日撮影 (2025年 ロイター/Sputnik/Alexander Scherbak/Pool via REUTERS) (ロイター)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/592c8e8ef31757667bac6abb071cdcdf3fa7a94/images/000>

⑦【6/14 ロシア・ウクライナ紛争】和平交渉は行き詰ったか NATO 軍の最高司令官は米軍中將(2025年6月14日)

今回は、和平交渉は行き詰ったのでしょうか、そして NATO 軍の最高司令官は、米軍中將というお話で

昨日 Israel がイランを攻撃しました。石油価格の上昇、世界の注目、欧州の武器流出とウクライナにとってはプラスなことはありません。

6/12 ロシア・デーにルビオ国務長官は、「アメリカ国民を代表して、ロシア国民に建国記念日をお祝

いしたいと思います」と祝辞を述べました。

しかし、トランプ大統領は、ロシアの飛行場への攻撃に言及し、「間違った」標的への攻撃によってウクライナとロシアの交渉は、行き詰まっていると述べたといいます。ついにヘグセス国防総省長官も6/4のウクライナへの軍事支援について話し合うNATOの本部会合を欠席してしまいました。

ウクライナは、今経済的にも苦しく物価は高騰しています。今ウクライナではユーロに対するフリブニャの為替レートが急上昇しています。6/13、ウクライナ国立銀行は公式為替レートを1ユーロ、48.08 UAHに固定しました。これは歴史上最高といいます。

6/5、トランプ大統領は、次期連合国ヨーロッパ最高司令官(SACEUR)に従来通り米軍4つ星の将官アレクサス・グリーンケウィッチ空軍中將を指名しました。

<https://youtu.be/A5RKBpJJupQ>



<https://www.youtube.com/watch?v=A5RKBpJJupQ>

⑧ウクライナ戦争の最新の戦況(2025年6月12日)

ロシア・ウクライナ戦争の最新の戦況について、詳細な分析と進展をお届けします。最近の領土の変化と進行中の軍事作戦に焦点を当て、主要なポイントをまとめました。

デツカ地域におけるロシアの顕著な進軍

ロシアはデツカ地域南部で大きな進軍を見せ、一晩で約30平方キロメートルのウクライナ領を支配下に置きました。

Wfia川戦線の南岸から攻撃を開始し、映像は彼らが東部戦線のネプロパトク地域に侵入したこと

を確認しています。

補給ルートの確保:

Kumar の東にある要塞化された陣地を制圧し、Utratna から Kumar の北部側面への高速道路を確保しました。これにより、今後数日で Kumar と Perodova を完全に支配し、追加の補給ルートを確保することが期待されます。

ロシア軍は現在、Kumar の北にある交差点の近くを支配下に置いています。

彼らは、FPV ドローン、砲兵、長距離攻撃を用いて、小さな居住地域と西岸の Pedova の間の川を渡る橋を制圧する可能性があります。

ロシアの陣地は Fedarifka 近くの西岸にも存在し、Merin に向けて進軍する前に両方の町を孤立させ、支配することを目指しています。

攻撃戦略: ロシア軍は、Sabaricia Yela と Siraka への同時攻撃作戦を開始すると予想されており、同時に西岸の Pupna にも進軍するでしょう。目標は、2 つの河川の間を支配し、地域の郊外に進軍し、ウクライナの防衛線を迂回して Pocroska への突破口を開くことです。

ネプロペトク地域への進軍:

ロシア軍は河川線方向にネプロペトク地域に侵入し、Odatna の西の森林地帯と Utreand の南の要塞化された陣地を支配しました。

映像では、ロシア軍がクラスター弾で陣地を攻撃した後、歩兵がそれらを排除し、第 114 旅団の旗を掲げる様子が映っています。

彼らは現在、Dashna に通じる道路を物理的に支配しており、ウクライナの補給活動を大幅に妨害しています。

ロシア軍は Wanhifka の西に進軍し、未舗装の道路を遮断し、Nova Crank と Selenut の北にあるウクライナの陣地を包囲し、Novlefka に向けて進軍するための陣地を改善する可能性があります。

No Mikoliffka の支配: ロシア軍はまた、ネオペトロス地域とドネツカ地域の境界地域にある No Mikoliffka を、町への 2 番目の道路を占領した後に支配しました。これにより、彼らは Barfka に向けて進軍し、最終的に Dash から No Sifka と Odashn までの国境地域全体を確保することができます。

Hova への強襲: ロシア軍は現在 Hova を強襲しており、町の東部全体が灰色のゾーンになり、ウクライナ軍を追い出そうとしています。

作戦の激化: 彼らが国境地域に到達すると、攻撃作戦は激化すると予想され、Perlifka、Mishova、そして Ianfka 近くの国境沿いに新たなプロペスト地域に進軍するでしょう。

南西の Dunesk からの攻撃と組み合わせることで、Peter、そして Pocroska に向けて進軍することを目指しています。

Alpha Dash での進軍: Alpha Dash で攻撃作戦が再開され、ロシア軍はゆっくりと南北の通りを進軍し、完全な支配を獲得し、さらに北の炭鉱と Modetsk への道を開いています。

作戦上の包囲: ロシア軍は国境地域をゆっくりと移動しており、Sifka、Khalinifka、Kamyanka、そして Pocrosk の北西にあるウクライナの防衛線まで支配し、作戦上の包囲を目指しています。彼らは Pocross と Kashantifka を包囲するための作戦を続けています。

ウクライナの反撃と前線の修正

Diffka での小規模な反撃: ウクライナ軍は Diffka 方面で小規模な反撃を行い、小規模な町の多くを奪還しました。

Lifka での支配の回復: Lifka の残りの地域では、ロシア軍が東側を確保できなかったため、ウクライナ軍は要塞化された陣地と町自体を奪還することに成功しました。

Kupansk と Varishna の修正: Kupansk と Varishna の方向で地図の修正がありました。以前のロシア軍による占領の報告にもかかわらず、ウクライナ軍はまだ Zahisova の東にある要塞化された陣地を支配しています。

Wishna の西におけるロシアの拡大: ロシア軍は Wishna の西、Oscar 戦線の西岸で一部の支配を拡大し、町の西の森林地帯を確保し、南西の森林地帯に沿って進軍しました。

https://youtu.be/3vkcidxM-i_E



https://www.youtube.com/watch?v=3vkcidxM-i_E

㊦ウクライナ終戦:アレストヴィチが戦後ロシアのウクライナ計画を予測(2025年6月12日)

<https://youtu.be/2bgjefCQW1k>



ウクライナ戦争終結後の計画とは? ゼレンスキー元大統領顧問のアレクセイ・アレストヴィチ氏は、ウクライナが3つのウクライナに分割されると予測しています。

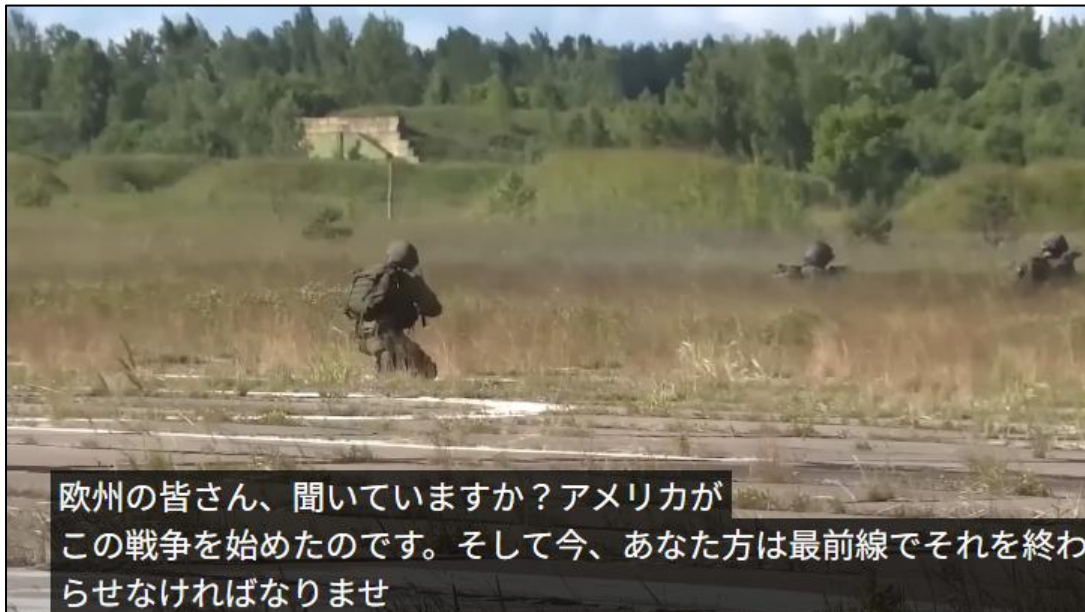
ウクライナ戦争解決に向けた外交に関する私の定期アップデート第1弾「ウクライナ終戦」では、この興味深い仮説を詳しく解説します。

<https://www.youtube.com/watch?v=2bgjefCQW1k>

⑩ロシア・ウクライナ戦争の真の責任は誰にある？ 完全版(2025年5月31日)

ロシアとウクライナの戦争の真の責任は誰にあるのでしょうか？この紛争は、おそらく私たちの人生において最も地政学的に重要な出来事と言えるでしょう。Pax Tube のこの動画では、ロシア・ウクライナ戦争の全容を解説し、真の責任は誰にあるのでしょうか？冷戦は本当に終わったのでしょうか？NATO の拡大はどのような役割を果たしたのでしょうか？ウラジミール・プーチンは世界を征服しようとしているのでしょうか？地政学、ロシア、ウクライナ、アメリカ合衆国、NATO などについて語るこのドキュメンタリーをご覧ください。

<https://youtu.be/SUY8xLZJOLQ>



<https://www.youtube.com/watch?v=SUY8xLZJOLQ>